概要版

第4次南国市総合計画

《平成 28 年度 ▶平成 37 年度》

緑とまち 笑顔あふれる 南国市

《前期基本計画 平成 28 年度▶平成 32 年度》







南国市

1. 策定の趣旨

総合計画は、よりよいまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための市政の基本方針としての役割と性格を持つものであり、市の最上位計画と位置づけられます。

本市では、平成27年度を目標年次とする「第3次南国市総合計画」を平成18年度に策定し、計画に掲げた将来像「みんなで築く」健康で安心ないきいき文化交流・産業拠点のまち」の実現を目指して、これまで計画的にまちづくりを進めてきました。

この間、日本の総人口は減少に転じ、少子高齢化が進行するなか、ライフスタイルの変化や都市と地方の格差拡大、東日本大震災を教訓とした地震に対する安全・安心意識の高まり、環境・エネルギーなど環境保全意識の高まり、また、経済のグローバル化の進行等に対応する地域産業の新しい方向性の模索など、本市及び我が国を取り巻く情勢は大きく変化してきています。

平成 17 年国勢調査で念願の 5 万人を突破した本市の人口は、日本の総人口と同様に、平成 22 年国勢調査において減少に転じました。

これらの社会情勢に対して、国においては、行政サービスを地域の実情に応じたものにし、地方自治体に対して、自治体自らの判断と責任のもと、自主的かつ自律的な行財政運営が求められるようになりました。そして、国と地方公共団体が、国民とともに問題意識を共有しながら、危機感を持って人口減少克服と地方創生に取り組む地方創生事業を創設するなど、いま、全国の自治体に対して、人口減少対策に本格的に取り組むことが求められています。

このような状況を踏まえ、本市では「第3次総合計画」の計画期間満了に伴い、こうした内外の動向に的確に対応し、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組み、今後大きく発展していく南国市を築いていくために、総合的かつ計画的なまちづくりを進めていくための今後10年間の指針となる「第4次南国市総合計画」を策定するものです。

2.計画の役割

「第4次南国市総合計画」は、今後の南国市のまちづくりの基本方向を示すもので、次のような性格と役割を持っています。

○役割1 市民協働のまちづくりを進めるための共通目標

今後のまちづくりの方向性と必要な施策をわかりやすく示すとともに、南国市の特性を生かし、市民一人ひとりが主体的に参画し、市全体で連携・協働してまちづくりを進めるための共通目標となるものです。

◎役割2 地域経営を進めるための行財政運営の指針

地方分権時代にふさわしい地域経営の確立に向けて、様々な施策や事業を総合的かつ計画 的に推進するための、行財政運営の総合指針となるものです。

◎役割3 広域行政に対する連携の基礎

国や高知県、定住自立圏・物部川流域ブロック等の広域的な行政に対して、本計画実現に向けて必要な施策や事業を調整・反映させていく連携の基礎となるものです。

3. 計画の構成と期間

本計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」の3層で構成します。それぞれの内容構成と期間は、以下のとおりです。

■ 基本構想

基本構想は、本市の目指すべき将来像とそれを実現するための基本目標を示すものです。 計画期間は、平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間とします。

■ 基本計画

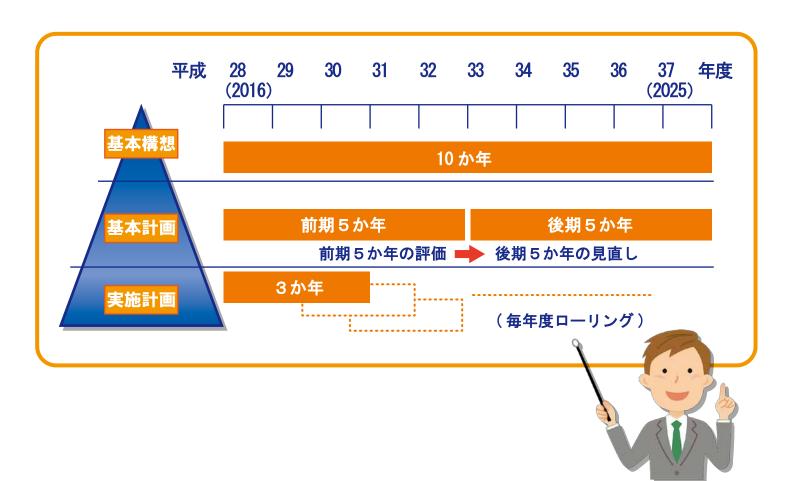
基本計画は、基本構想に基づき、その実現を図るために必要な基本的施策等を体系的に示すものです。

計画期間は、前期5年間、後期5年間とし、このうち前期基本計画は平成28年度を初年度に、 平成32年度を目標年度とします。

■ 実施計画

実施計画は、基本計画に示した基本的施策を、具体的に実施する事業を定めるものであり、事業の優先順位や具体的な事業内容等を示すことにより、予算編成の指針となるものです。

計画期間は3年間とし、毎年ローリング方式で事業の進捗管理と見直しを図り、本計画の進行管理の役割を担います。



4. 南国市の特性・資源

本計画の策定にあたっては、第3次南国市総合計画基本構想と基本計画の達成状況を踏まえつつ、直近の市民ニーズの動向や市の将来人口の見通し、社会動向等を十分に踏まえ、新たな視点を取り入れていくことが必要です。

本計画策定にあたって踏まえるべき背景をまとめると、以下のとおりです。

◎特性1 交通要衝のまち「なんこく」

高知龍馬空港、JR線、土佐くろしお鉄道、路面電車などの公共交通をはじめとして、高知自動車道南国ICを有し、高知東部自動車道の建設も進み、高知新港にも隣接しています。交通利便性が高く、「ひと」と「もの」の流れにおける高知県の玄関口・交通要衝のまちといえます。





◎特性2 安心のまち「なんこく」

高知大学医学部附属病院、JA高知病院をはじめとする医療機関が充実しています。また、防災行政無線も整備し、市民の方へ迅速な情報提供を行えるようになりました。さらに、南海トラフ地震に備えて津波避難タワーの建設、防災コミュニティーセンターの整備も進んでいま

す。市民だけでなく、 本市を訪れた人々も 安心して過ごすこと のできるまちづくり が進んでいます。



◎特性3 食育のまち「なんこく」

本市では温暖な気候という好条件もあわせて、園芸野菜として、ピーマン、なす、ししとう、生姜などの生産が盛んです。また、早場米の産地として有名であり、四方竹やゴーヤなどの作物も特産物として栽培されています。

これらの豊かな食材を生かし、特色ある学校 給食が行われており、

「食育のフロントランナー」 として、「食」をテーマに まちづくりが進んでいます。



◎特性4 学びのまち「なんこく」

本市には、学術研究拠点として高知大学医学部及び農学部、高知工業高等専門学校などの高等教育機関が立地しています。また、国内唯一、世界でも3箇所しかない研究機関、海洋コア総合研究センターがあり、多くの研究者が集まっています。こうした「学び」の場を反映して、本市には、高知大学への留学生を中心に、外国人住民が多数住んでいます。家族とともに滞在する方が多いことから、南国市国際交流協会を中心とした市民レベルの交流も盛んに行われています。

また、田村遺跡や岡豊城址、紀貫之邸跡など 数多くの遺跡をはじめ、特別天然記念物である 土佐のオナガドリや各地域でのまつりなどの伝 統文化が、今に伝えられています。さらに、県 立歴史民俗資料館も立地し、貴重な歴史遺産等 の保存・研究等が進められています。





◎特性5 働くまち「なんこく」

本市には、南国オフィスパーク、なんごく流 通団地、高知みなみ流通団地などの企業団地が 立地しています。世界的なシェアを持つ製造業 の企業のほか、流通業とともに、電子デバイス

やIT関連業の企業も増加し、「働く場」が多くあります。

また、本市で就職し、 定住ができるよう、職業 情報提供や創業・求職者 向けセミナーの開催を行 っています。







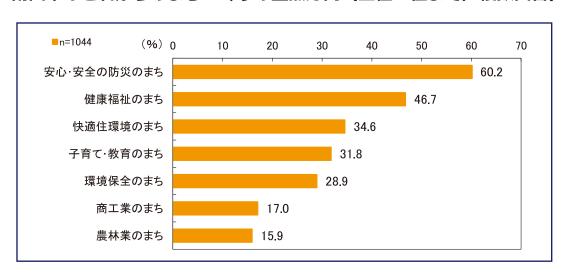


5. 今後の南国市のまちづくりにあたっての重点方向

今後のまちづくりにあたっての重点方向としては、「安心・安全の防災のまち」(60.2%)が第1位、次いで「健康福祉のまち」(46.7%)、「快適住環境のまち」(34.6%)、「子育て・教育のまち」(31.8%)が上位となっています。

これを年齢別にみてみると、30代では「子育て・教育のまち」が第1位となっており、子育て世代の思いが表れています。その他の年齢層では「安心・安全の防災のまち」が第1位になっています。また、年齢層が高くなるほど「健康福祉のまち」が高い傾向があり、各世代によって重点方向の考えに若干の相違がみられます。

南国市のこれからのまちづくりの重点方向(上位7位まで/複数回答)



今後のまちづくりの重点方向について(年代別上位3位まで/複数回答)

		第1位	第2位		第3位	
年齢	10代	安心・安全の防災のまち	快適住環境のまち		環境保全のまち	
		66.7		46.2		38.5
	20代	安心・安全の防災のまち	子育て・教育のまち		快適住環境のまち	
		71.8		43.6		41.0
	30代	子育て・教育のまち	安心・安全の防災のま	ち	健康福祉のまち	
		70.4		62.6		36.5
	40 代	安心・安全の防災のまち	快適住環境のまち	/	健康福祉のまち	
		61.1				42.7
	50 代	安心・安全の防災のまち	健康福祉のまち		環境保全のまち	
		55.0		47.5		34.4
	60代	安心・安全の防災のまち	健康福祉のまち		快適住環境のまち	
		58.9		46.8		35.9
	70 歳以上	安心・安全の防災のまち	健康福祉のまち		快適住環境のまち	
		60.8		56.5		29.4

6. まちづくりの基本理念

南国市の特性・資源、市民ニーズの動向、南国市を取り巻く社会の動向に基づき、新しいまちづくりを進める上で、すべての分野において尊重する基本理念を次のとおり定めます。

「ひと」が輝く 「地域」が輝く 「まち」が輝く 南国市

7. 南国市の将来像

将来像は、本市の 10 年後の姿を示すものであり、南国市のまちづくりの目指すべき目標となるものです。

まちづくりの基本理念に則り、本市の特性や資源を最大限に生かし、すべての分野にわたって着実に進歩していく必要があります。豊かな自然を暮らしの中に生かすとともに、充実した都市機能を備えた環境の中で、だれもが、心豊かに過ごすことのできるまちづくりを実行するために、南国市の将来像を次のとおり定めます。

緑とまち 笑顔あふれる 南国市



8. まちづくりの基本目標

南国市の将来像の実現に向け、5つのまちづくりの基本目標を次のとおり設定します。





9.人口目標

本市の総人口、人口構成等の今後の推移については、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、下表のとおり予測されています。

総人口は、今後ゆるやかに減少を続け、平成 32 年には 45,000 人程度、さらに計画目標年の平成 37 年には 42,500 人程度になると推計されています。

我が国全体で人口減少対策が大きな問題となっているなか、本市では恵まれた自然条件、 生活条件、産業条件を生かしたまちづくりを今後とも積極的に進め、人口減少を最小限に食 い止め、計画目標年の人口目標を次のとおりとします。



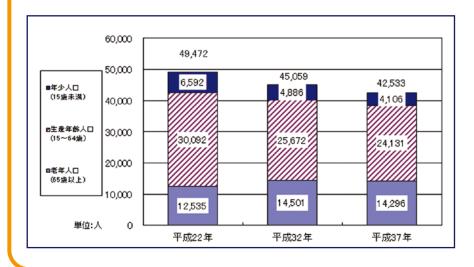
現状の予測結果

年齢3区分別人口の予測結果

(単位:人、%)

	年	平成 22 年	平成 32 年	平成 37 年	年平均増減率		
項目		平成 22 年	平成 32 年	平成 37 年	H22 ~ H32	H32 ~ H37	
	総人口	49,472	45,059	42,533	△0.89	△1.12	
	年少人口 (15 歳未満)	6,592 (13.3%)	4,886 (10.8%)	4,106 (9.7%)	△2.59	△3.19	
	生産年齢人口 (15 ~ 64 歳)	30,092 (60.8%)	25,672 (57.0%)	24,131 (56.7%)	△1.47	△1.20	
	老年人口 (65 歳以上)	12,535 (25.3%)	14,501 (32.2%)	14,296 (33.6%)	1.57	△0.28	

(注) 平成 22 年度は国勢調査の実績値。ただし、年齢不詳が 253 人いるため階層区分人口の合計と総人口が不一致。





第4次南国市総合計画 施策の体系図

緑と	基本目標1 安全・安心のまち 6 7 8 9 10	防災対策・防災体制の強化 消防・救急体制の充実 交通安全・防犯・消費者対策の推進 道路・公共交通網の整備 情報ネットワークの整備 市街地・住環境の整備 環境保全、景観形成と公園・緑地の整備 上下水道の整備 廃棄物処理とリサイクルの推進 計画的な土地利用
まち、笑顔	基本目標2 健康・福祉のまち 6	地域福祉の充実 子育て支援の充実 高齢者支援の充実 障害のある人への支援の充実 社会保障の充実 健康・保健活動の充実 地域医療体制の充実
あふれる	5	農林水産業の振興 工業の振興 商業の振興 観光の振興 雇用対策の推進
南国市	基本目標4 教育・文化のまち 4 5	学校教育の充実 地域教育の充実と青少年健全育成の推進 生涯学習の推進とスポーツ活動の充実 文化活動・文化財保護活動の充実 人権対策・男女共同参画の推進 友好都市との交流促進と多文化共生体制の充実
	基本目標 5	市民参画・協働の推進 地域コミュニティ活動の充実 移住促進 情報公開と広報広聴の充実 行政運営の充実 財政運営の充実 広域行政の推進

基本目標1 安全・安心のまち

- 1 防災対策・防災体制の強化
- 2 消防・救急体制の充実
- 3 交通安全・防犯・消費者対策の推進
- 4 道路・公共交通網の整備
- 5 情報ネットワークの整備
- 6 市街地・住環境の整備
- 7 環境保全、景観形成と公園・緑地の整備
- 8 上下水道の整備
- 9 廃棄物処理とリサイクルの推進
- 10 計画的な土地利用

主な施策

- ・南海トラフ地震対策の推進
- ・救急体制の充実
- ・交通安全教育・指導の充実
- ・公共交通の利便性の向上と利用促進
- ・情報セキュリティ対策の推進
- ・中心市街地の整備
- ・地球温暖化防止対策の推進と再生可能工 ネルギーの導入促進
- ・上水道施設の地震対策の推進
- ・ごみの分別収集の徹底と排出抑制の推進







基本目標2 健康・福祉のまち

- 1 地域福祉の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 高齢者支援の充実
- 4 障害のある人への支援の充実
- 5 社会保障の充実
- 6 健康・保健活動の充実
- 7 地域医療体制の充実

主な施策

- ・住民の健康づくり・生きがいづくりの推進
- ・地域における子育て支援の充実
- ・高齢者の社会参加の推進
- ・国民健康保険の健全運営と医療費の適正化
- ・母子保健の充実
- ・地域医療体制の整備







基本目標3 産業・交流のまち

- 1 農林水産業の振興
- 2 工業の振興
- 3 商業の振興
- 4 観光の振興
- 5 雇用対策の推進





主な施策

- ・担い手対策の推進と集落営農の組織化、 新規就農者の確保
- ・直販所の機能強化と地産地消の推進
- ・企業誘致等の推進
- ・中心市街地及び商店街の活性化の推進
- 観光推進体制の整備と地域特産品の開発

基本目標4 教育・文化のまち

- 1 学校教育の充実
- 2 地域教育の充実と青少年健全育成の推進
- 3 生涯学習の推進とスポーツ活動の充実
- 4 文化活動・文化財保護活動の充実
- 5 人権対策・男女共同参画の推進
- 6 友好都市との交流促進と多文化共生体制 の充実



- ・学校教育・幼児教育の充実
- ・食育の推進と充実
- ・図書館機能の充実と読書活動の推進
- ・スポーツ活動の普及促進
- ・文化財の保護・活用
- 人権教育・啓発の推進







基本目標5 協働・連帯のまち

- 1 市民参画・協働の推進
- 2 地域コミュニティ活動の充実
- 3 移住促進
- 4 情報公開と広報広聴の充実
- 5 行政運営の充実
- 6 財政運営の充実
- 7 広域行政の推進



主な施策

- ・市民参画の推進
- ・協働体制の構築
- ・住民自治組織の活動支援と再構築
- ・空き家を活用した移住促進
- ・市ホームページの充実
- 行政改革の推進
- ・産学官民の連携強化

「基本計画・目標指標一覧 (一部抜粋)

指標名	単位	実績 (平成 26 年度)	目標 (平成 32 年度)	数値の測定根拠と設定の考え方等
自主防災組織の結成率	%	93.5	100	全地区での結成
普通救命講習受講者数	人	12,394	15,000	平成8年からの延べ人数
都市計画道路南国駅前線の整備率	%	43	100	全長 L=414m
家庭系可燃ごみの処理量	t	7,320	6,243	直近5年間の減少率を維持する
放課後子ども教室実施数	箇所	2	5	小学校 13 校中
特定健診受診率	%	33.2	60.0	
乳幼児健診受診(3歳4か月児)	%	91.9	93	健診対象者と参加者の割合
認定農業者	経営体	219	300	
観光入込客数の増加	人	530,000	550,000	主要4施設(西島園芸団地、道の 駅南国、県立歴史民俗資料館、パ シフィックゴルフ)合計
シルバー人材センターの会員数	人	199	270	平成 27 年に 20 人、以降年 10 人の増
学校給食の地元食材利用率	%	18	25	食材数ベース(小学校)
図書館資料貸出点数	沪	162,397	178,600	1割増
スマイリーハート人権講座参加人数	人	237	260	1割増
空き家バンク登録件数	件	3	20	
ホームページの閲覧者数	ページ ビュー	27,000	30,000	年間
地方債残高	億円	181	190	公債費負担適正化計画

編集・発行 / 南国市 〒783-8501

高知県南国市大埇甲 2301 番地

TEL(088)863-2111 (代表) FAX(088)863-1167

URL : http://www.city.nankoku.lg.jp/